

平成29年度 評価調査者指導者研修会 プログラム

| 日 | 区分 | 時間 | 研修課目 | 講師(敬称略) | 主な内容 |
|----------------------|--|--|--|--|---|
| 第1日 (6月26日) | 講義 | 10:30~ | | 受付 | |
| | | 11:00~11:15 | 開講 | 全国社会福祉協議会 | ・本研修の位置付け等について |
| | | 11:15~12:00 (45分) | 【講義1】 「第三者評価の理念と基本的な考え方」、 「第三者評価の全体像」指導と留意点 | 厚生労働省 社会・援護局福祉基盤課 | ・第三者評価事業の概要と目的、必要性 ・社会福祉法人制度等をめぐる状況 ・第三者評価事業の課題と今後の方向性 |
| | | 12:00~13:00 | | 昼食休憩 | |
| | | 13:00~14:00 (1時間00分) | 【講義2】 「福祉サービスの質の向上と第三者評価事業」 | 全国社会福祉協議会 政策企画部 | ・第三者評価事業の現状と福祉サービスの質の向上に向けた課題等 ・全社協「福祉サービスの質の向上推進委員会」の取り組みの意義と今後の活用に向けて |
| | | 14:00~14:05 | | 休憩 | |
| | | 14:05~15:05 (1時間) | 【講義3】 「高齢者福祉サービス版 第三者評価基準ガイドライン」の概要と改定のポイント | 福井県立大学 看護福祉学部 教授 奥西 栄介 (全社協・福祉サービスの質の向上推進委員会 高齢者部会 専門委員) | ・高齢者支援新制度をめぐる現状と課題 ・高齢者福祉サービス版 第三者評価基準ガイドラインの考え方及び改定のポイント |
| | | 15:05~15:15 | | 休憩 | |
| | | 15:15~16:15 (1時間) | 【講義4】 「障害者・児福祉サービス版 福祉サービス 第三者評価基準ガイドライン」の概要と改定の ポイント | 上智大学 教授 大塚 晃 (全社協・福祉サービスの質の向上推進委員会 障害部会 部長) | ・障害者支援をめぐる現状と課題 ・障害者・児福祉サービス版 第三者評価基準ガイドラインの 考え方及び改定のポイント |
| | | 16:15~16:20 | | 休憩 | |
| 16:20~17:20 (1時間) | 【講義5】 「保育所版 福祉サービス第三者評価基準 ガイドライン」の概要と改定のポイント | 大阪総合保育大学 教授 大方 美香 (全社協・福祉サービスの質の向上推進委員会 保育小委員会・作業委員会 委員長) | ・子ども・子育て支援新制度をめぐる現状と課題 ・保育所版 第三者評価基準ガイドラインの考え方及び改定の ポイント | | |
| 任意 | | 17:30~ | | (任意)参加者による情報交換会 | |
| 第2日 (6月27日) | 講義 | 9:15~10:55 (1時間40分) | 【講義6】 『福祉サービス第三者評価基準ガイドライン』 の理解」指導と留意点 | 国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部長 福田 敬 (全社協・福祉サービスの質の向上推進委員会 共通基準等部会長) | ・福祉サービスの質と第三者評価基準(総論) ・福祉サービス第三者評価基準ガイドライン(共通評価:45項目)の考え方及びポイント ・評価結果の公表ガイドラインの考え方とポイント ・内容評価基準の策定指針 |
| | | 10:55~11:10 | | 休憩 | |
| | | 11:10~12:40 (1時間30分) | 【講義7】 評価調査者の役割と倫理 | 神奈川県立保健福祉大学 顧問 全国保育士養成協議会 会長 山崎 美貴子 (全社協・福祉サービスの質の向上推進委員会 委員長) | ・評価調査者の役割 ・評価調査者として守るべき倫理と調査時に求められる姿勢 ・第三者評価の標準化と専門性 |
| | | 12:40~13:30 (50分) | | 昼食休憩 | |
| 第3日 (6月28日) | 実習等 指導法 | 13:30~17:40 (4時間10分) (250分) ※途中休憩あり | 【演習Ⅰ】 ① 評価機関の体制づくり ② 第三者評価のプロセスと留意点 ③ 事前分析・事前準備 ④ 自己評価の支援 ⑤ 利用者調査の実施 | 全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会 代表 新津 ふみ子 (全社協・福祉サービスの質の向上推進委員会 評価調査者部会長) NPO法人 福祉経営ネットワーク 常任理事・事務局 岡田 賢宏 (全社協・福祉サービスの質の向上推進委員会 評価調査者部会 専門委員) | ・『福祉サービス第三者評価実践マニュアル』のポイントと活用 ・受審施設・事業所における事前準備のポイントと評価機関の 支援 ・事前分析(書面審査)の目的と具体的方法 ・基本情報シートの活用 ・評価調査者と自己評価の実施支援の方法 ・利用者調査の位置付けや意義、その結果の取扱い、実際の 調査法 |
| | | 9:30~17:30 (8時間) (480分) ※途中休憩あり | 【演習Ⅱ】 ① 訪問調査 ② 合議・評価結果のとりまとめ ③ 評価結果報告書の作成 ④ 評価結果の報告と公表 ⑤ 第三者評価を活用した福祉サービスの 質の向上の取組 | 同上 | ・訪問調査における評価判定方法、着眼点についての課題演 習、事例検討 ・訪問調査(インタビュー技術等)について学ぶ実習指導法、訪 問調査時の留意事項 ・訪問調査の結果に基づき評価調査者間で行う合議、最終的 な第三者評価結果のとりまとめ等報告書の作成と留意事項 ・評価結果の公表ガイドラインの活用 ・事前課題(評価結果)の検討 |
| 第4日 (6月29日) | 実習等 指導法 | 9:30~12:00 (2時間30分) (150分) | 【研修科目】 ① 研修の企画実施 ・演習と実習の企画・実施 ・演習、公表・まとめの展開 【まとめ】 ① 評価機関マネジメント ② 研修全体のまとめ | 同上 | ・福祉サービス第三者評価基準(共通評価:45項目)等の理解 の促進に向けた評価調査者養成研修、継続研修における企画 実施方法 ・実習の成果発表、演習における講師としての講評法、とりま め等に対する問題点や課題、評価調査を実施する上での留意 事項 ・福祉施設・事業所の福祉サービスの質の向上と第三者評価・ 評価調査者の役割 ・演習方法と講評、まとめ <評価機関のマネジメント> ・第三者評価の実施に係る組織的な対応、プロセス管理 ・評価チームの編成、チームマネジメント ・評価機関における評価調査者の研修 ・評価受託に向けた取組・工夫 ・福祉サービスの質の向上に向けた取組 |
| | | 12:00 | | 閉講 | |

基礎的研修課程